



令和7(2025)年12月3日

校長だより Vol.10

同じ星を見て歩いていきましょう!⑨ ～ Gimmick がいっぱい詰まった修学旅行 ～

11月26日(水)～29日(土)までの3泊4日で沖縄への修学旅行へ行ってきました。2年部の先生方には、計画段階から細心の注意を払っていただいたおかげで、生徒一人一人がとても楽しそうで、充実している様子が伝わってきました。全員が無事で元気に戻ってくることが出来て、大変有意義な研修旅行となりました。学年主任の野村先生をはじめ、日頃から諸先生方の懇切丁寧な御指導をいただいているお陰です。本当にありがとうございました。美ら海水族館に代表される観光リゾートや城(グスク)等の世界遺産に魅了されつつも、普天間基地などの多くの米軍基地があることで、軍用機の騒音や墜落事故などが深刻な問題となっていることを肌で感じてくれたと思います。感性豊かな年代の彼らが沖縄を旅したことが、色々な意味で自分の心を揺さぶり、これからの様々な場面において、行動を起こすきっかけとすること・正しい意思決定をするに繋がることを祈っています。

同じ星を見て歩いていきましょう!⑩ ～ 「本気」は必ず伝わる。～

先日行われた全校集会では、生徒課長の宮原先生、課長補佐の榎原先生から生徒に向けて、『最近の西高』についてお話がありました。お二人の真に迫る話が、生徒の心に何かを訴えたことは間違いありません。そこに整った言葉は要りません。

『学校の表情は生徒の表情であり、その生徒の表情とは、まさに我々先生方の表情だ。』と本気で思っています。

先生方お一人お一人が、西高の表情を創っています。先生方の日々の想いが生徒の行動様式に刺激を与えるのです。

生徒たちが、私たちと『同じ星』を見て、『西高の物語』を創っていけるようにたくさん関わりましょう。「本気」は必ず伝わります。

同じ星を見て歩いていきましょう!⑪ ～ 同窓生の想い 在校生の想い ～

新校舎での生活が始まり半年が経過しました。教室がある3年生が主となりますが、特別教室(理科や家庭科等)、看護・医療進学コースの実習棟として、生徒は快適な高校生活を送っています。しかし、年度末の数か月は、これまで生活していた旧校舎からの引っ越し作業や動線の変更など、暮らし慣れてきた(見慣れてきた)西高の風景は生徒の眼にも先生方の眼にも刻々と変わっていったことでしょう。今後も、これから予定されているプール及び旧第2棟の解体工事等の関係で様々なことが変わっていくことでしょう。不自由をお掛けします。



～ 「西高生で良かった!」 ～

先日、本校の同窓生の先生お二人とお話しする機会がありました。一回り以上も年齢が違うお二人ですが、「通じるところが多い」「考え方が似ているような気がする」(先輩談)と仰っていました。私は、これこそが清水西高が大切にしてきた校風、気概なのだと確信しました。卒業生が、西高をふりかえる時、どんな情景を思い出せるのか。プライドを持てるのか。今いる私たちが生徒に本気で関わっていかない限り、そうした感情を与えてあげることは出来ません。「西高生で良かった!」は私たちの関りに掛かっています。

新しい年も良い年にしましょう!

年末年始は、どのようにお過ごしでしょうか。年の瀬に向かい、何かと慌ただしい時期となりますが、体調管理とリフレッシュに努めていただきたいと思います。時々、自分のあり方を振り返ってみましょう。「大丈夫だな」と。不祥事とは無縁でいきましょう!また、1年の仕事を振り返る意味でも、引継ぎ資料(年間スケジュール、業務内容、注意点、改善点)の整理をしてみましょう。きっと新たな発見があるはずです。良いお年を!!

